

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容
A I 方式 1月19日 問題▶P.99~	第1問	生物の特徴	原核生物と真核生物、共生説
	第2問	遺伝子とそのはたらき	DNA、ゲノム、ゲノム中の遺伝子の割合、だ腺染色体
	第3問	生物の多様性と生態系	日本のバイオーム、優占種、水田の生態系
	第4問	生命現象と物質	葉緑体、光合成のしくみ、光合成に関する実験
	第5問	生殖と発生	カエルの発生過程、減数分裂、被子植物の発生
	第6問	生物の環境応答	視覚器、遠近調節、視細胞、盲斑の長さを求める計算問題
A I 方式 1月20日 問題▶P.103~	第1問	生物の特徴	ミトコンドリア、細胞小器官、体細胞分裂の観察、マイクロメーター
	第2問	遺伝子とそのはたらき	バクテリオファージを用いた実験、DNA、DNA中の塩基対の数の計算
	第3問	生物の多様性と生態系	階層構造、土壌、外来生物、二次遷移
	第4問	生命現象と物質	硝化、窒素同化、窒素固定、タンパク質合成量の計算
	第5問	生殖と発生	ウニの受精に関する実験、精子、有性生殖
	第6問	生物の体内環境の維持、生物の環境応答	味覚、生命活動の中核、古典的条件付け、浸透圧調節とホルモン
A II・Ⅲ方式 2月4日 問題▶P.107~	第1問	生物の特徴	顕微鏡観察、マイクロメーター、さまざまな細胞の観察
	第2問	遺伝子とそのはたらき	塩基の相補性、体細胞分裂とDNA量の変化、DNAとRNA
	第3問	生物の多様性と生態系	炭素の循環、水中の生態系
	第4問	生命現象と物質	葉緑体の構造、光合成、炭酸同化、光合成速度
	第5問	生殖と発生	動物の配偶子形成、種子植物の発生、原基分布図、中胚葉誘導
	第6問	生物の環境応答	光発芽種子、適刺激と効果器、ニューロン
B方式 2月20日 問題▶P.112~	第1問	生命現象と物質	光合成、呼吸、酵素、ATP合成量の計算
	第2問	遺伝子とそのはたらき	形質転換、DNAの構造、塩基の相補性、セントラルドグマ、コドン、RNA
	第3問	生物の多様性と生態系	窒素固定、窒素同化、脱窒、窒素の循環
	第4問	生命現象と物質	異化、呼吸、脂肪の代謝経路、脂肪の燃焼反応、呼吸商
	第5問	生殖と発生	組換え価、染色体地図、乗換え
	第6問	生物の体内環境の維持	血糖量の調節、原尿量の計算、再吸収量の計算
C方式 3月15日 問題▶P.116~	第1問	生物の特徴	細胞小器官の機能、呼吸
	第2問	遺伝情報の発現	原核生物と真核生物の転写・翻訳、スプライシング
	第3問	生物の多様性と生態系	ギャップ、陽樹と陰樹
	第4問	生命現象と物質	解糖系、呼吸商の実験
	第5問	生殖と発生	動物の配偶子形成、核相、卵割
	第6問	生物の体内環境の維持	抗体、免疫グロブリン、抗原抗体反応

傾向

基礎的な問題を中心に、幅広い分野から偏りなく出題される。

1 出題形式

大問6問の構成で、解答方式はA I、A II・Ⅲ、Bはすべてマークシート方式、Cはすべて記述方式である。

出題形式はA I～Ⅲ、Bは語句選択・数値選択・組み合わせ選択・文章選択など、Cは語句記述・数値記述・文章選択・文章記述・図示などである。

2 出題内容

生物の特徴、遺伝子とそのはたらき、生物の体内環境の維持、生物の多様性と生態系、生命現象と物質、生殖と発生、

生物の環境応答の各分野から出題されている。

3 難易度

各方式とも教科書レベルの基礎的な問題が中心であるが、時間のかかる実験考察問題や計算問題なども出題されており、教科書の内容について十分かつ正確な理解が求められている。また、Cでは40字程度を記述する文章記述問題や模式図を図示する問題も出題されており、やや難易度が高くなっている。問題が要求している内容に対して、要点を過不足なく、簡潔に答える論述力も必要である。

対策

教科書の内容をしっかりと身につけ、問題集で演習を繰り返そう。

教科書の内容を正確に理解したら、問題集や過去問を用いて実戦的な演習を行おう。演習を通じて内容を確認するだけ

でなく、解答時間、答え方も意識することにより、求められている考察力や論述力を養うことができるだろう。